

ERIS マークの付いた行事は
「えりす いしかりネットテレビ」でもご紹介しています。
あわせてご覧ください! <http://www.i-eris.tv/>



◎愛くるしいテディベアがずらり

花川南在住の鶴岡美智子さんによるテディベア展が、9月29日(月)～10月3日(金)に市役所ロビーで開かれました。鶴岡さんがテディベアを作り始めたのは14年前で、「テディベアのことは全く知らずに始めましたが、その奥深さに驚きました」。以来丁寧に作り続けたテディベアは700体あまり。「愛敬ある姿、手触りは、それだけで癒されます」とその魅力を語る鶴岡さんは、今後の制作にも意欲をみせます。



「かわいらしくて、思わず笑顔になります」と鶴岡さん。

当時7歳だった長女のために作ったクマのバックが、テディベア制作のきっかけ。



9月27日(土) 樽川中学校文化祭での力強い演奏。

◎樽川町内会に待望の太鼓

樽川町内会では財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業により、和太鼓を購入しました。この事業は、同センターがコミュニティ活動の支援を通じて、宝くじの普及広報を行うことを目的としています。今後は、町内会の祭りや小中学生への技術指導などを通じ、地域の連携や伝統文化を後世に残していくことが期待されます。



◎浜益川で豪快にサケ釣り

浜益川におけるサケの有効利用と周辺環境保全の推進を目的とした、「浜益川サケ有効利用調査」が9月5日(金)からスタート。遠くは兵庫県など道内外からの応募者1,472人が、サケ釣りに挑戦し、6.4kgの大物を釣り上げた人も。10月15日(水)までの期間中、釣果は3,871匹でした。



大物ヒットのダイナミックなサケ釣りは年々人気が高まっています。



子どもから大人まで玉入れに奮闘!

◎厚田区民スポーツと食の体験 ERIS

9月15日(月・祝)に開かれた「厚田区民スポーツと食の体験」。約280人が望来コミセン(みなくる)に集い、玉入れ、魚釣りリレーなどでさわやかな汗を流しました。その後のホタテやシャコむき体験では、小学生でも簡単にむくことができ、その場でバクリ。ほかにも目の前でさばいたサケで作ったチャンチャン焼きや手打ちそばなど、厚田の味覚を楽しみながら、地域や世代を超えて交流しました。

◎寿窯創立25周年記念作品展 ERIS

今年で25年目を迎える、高齢者のための陶芸教室「寿窯」が9月25日(木)～30日(火)にアートウォームで作品展「土と遊ぶ」を開きました。会場には受講生の力作約400点がびっしりと並び、期間中に訪れた約700人の目を楽しませていました。

花瓶や器、壁掛けなど作品のスタイルもさまざま。

まちの話題

●まちの主な出来事を写真で振り返ります。

○姉妹都市から訪問団 ERCS

カナダ・キャンベルリバー市と姉妹都市提携25周年、ロシア・ワニノ市とは15周年を記念する今年、両市の訪問団が石狩市を訪れました。9月20日(土)の記念式典では、両市の団長が「これからも深い友好関係であり続けたい」とあいさつ。祝賀会では、記念撮影をしたり、抱き合って再会を喜んだり、思い思いに交流を深めていました。



石狩さけまつり会場にて。お茶席や、サケのつかみ取りを体験しました。



9月1日(月)～26日(金)、市役所ロビーで行われた国際交流パネル展。



バグパイブバンドと一緒に、弁天歴史通りをパレード。



互いの友好を確認し合い、乾杯!



祝賀会ではロシア民謡を披露し、盛り上げました。

市内のサークル・団体

会員募集

閩秘書広報課
☎72-3145

広報いしかり1月号の会員募集記事掲載申込書の受付期間は11月20日(木)～30日(日)です。

●広報紙への会員募集記事掲載は「年1回」です。●掲載希望の場合は「会員募集記事掲載申込書」に必要事項を記入の上、上記期間内に秘書広報課窓口へ持参・郵送・ファクス・Eメールのいずれかで提出してください(先着8件まで)。●申込書は市役所3階秘書広報課窓口・各支所・市民館にあるほか、石狩市ホームページからもダウンロードできます。

句歌歳時記

俳句

新涼や七十路^{なな}辿る^{たど}松^まの道^{みち}

中矢 真弓

短歌

秋の気をかき混ぜて行く風を見た
そんな気がしてシャツターを切る

山内 幸子